



みよし

令和3年5月20日

文責 久保島 修

☆学校雑風景☆

5月があと少しで終わります。新年度からはまだ二ヶ月ですが、2021年はもう三分の一が過ぎたこととなります。さて、「一年の計は元旦にあり」新しい年明けとともに、子供たちはどんな夢を描いていたのでしょうか。そして、その夢に向かって毎日過ごすことができているのでしょうか。自分が子供の頃、そんなことは頭の片隅にも残っていなかったように思います。「次の祝日はいつだろう(笑)」などと考えずに、ゴールデンウィークを終えた今、ここで一段ギアを切り替えてみませんか。そのためには、大人の導きが不可欠です。どうぞ、お子さんに元気の出る一言をお願いします。この一年はまだ三分の二も残っています。



巷では「コロナ疲れ」「コロナ慣れ」などという言葉をよく耳にするようになりました。同時に『変異株』称する言葉とともに感染者が増えているニュースばかりを目にします。学校の過ごし方についても御心配をいただくことがあると思いますが、国が示す新しい生活様式、県や市が定めたマニュアルに沿って教育活動を進めていきます。あわせて「あたり前のことをあたり前にできる」子供を育てられるよう努めて参ります。『あたり前の行動』は、何も感染症対策に限ったことではありません。名前を呼ばれたら返事をする、挨拶をする、言葉遣いに気をつける、世の中のきまりを守る（学校にあっては『学校のきまり』）人に親切にする、自分を大切にする……。数え上げたらきりがありません。こうしたことを学ばせたり、諭したりしていきます。これは、学校で学ばせる分野もあれば、家庭が受け持つ部分もあると思っています。自転車の乗り方、お金の使い方、ゲームをする時の約束などは、家庭教育の範疇だと思っています。一方、集団で学びを共有する中で子供を成長させるのは、学校の得意分野だと思っています。しかし『あたり前の行動』の多くは学校とか家庭とか関係なく身につけさせたいものです。そういう意味でも保護者の皆様とは子供を中心として同じ方向を向いていたいと思います。少し気取った言い方をするならば、子供の教育に関して家庭とは同じベクトルを持っていたいと思います。



児童会活動の紹介!(^)!

荻窪星空児童会長を中心とする今年度の児童会は、連休前の4月30日（金）に第1回の児童総会を開き今年度の児童会活動の方針について討議しました。

その結果、**児童会テーマは『夢と希望が輝く学校』**を目指そうと決まりました。

児童会の考える『夢と希望が輝く学校』とは・・・

「げんき・あいさつができる学校」「えがお・仲良しな学校」「きれい・せいけつな学校」であり、それを実現するための具体的な活動として、

「げんき・あいさつができる学校」にするために、

①あいさつ運動 ②あいさつパズル ③ろうかメーター の活動を実施する。

「えがお・仲良しな学校」にするために、

①谷二っ子祭り ②たてわり班弁当 ③いいとこボックス ④アフリカ救援米の取り組みを行う。

「きれい・せいけつな学校」にするために、

①花一杯運動 除草作業 ②ランニング後の草むしり・石拾い ③ゴミO運動を実施する。と総会で決議されました。みなさんガンバってくださいね(^_^)v



